

センターだより

2019年
2月1日
第29号



開催
します

2019市民交流プラザまつり

平成31年3月9日(土) 10:00~15:30



午前の部

講演会 (10:00~12:00)

テーマ 地域づくりのあり方

講師 吉村 輝彦さん
よしむら てるひこ

日本福祉大学
国際福祉開発学部国際福祉開発学科
学部長・教授



日本をはじめ、開発途上国の住民主体のまちづくり・地域づくりに精力的に取り組んでおり、まちづくりの現場ではファシリテーターとして関わっている。



写真は去年の様子

午後の部

活動紹介 (12:10~15:30)

ステージ発表 ~大会議室A・B~

コーロ・クレアーレ
東海市健康づくりリーダー

連絡協議会

木曜座
大田レクレーション
古典を楽しむ会 桜
しあわせ劇団
パパ子育て応援団おとキッズ
日本福祉大学 Cラボ東海

ギャラリー展示

川柳虹の会
くれよん's
ちぎり絵白美
自然観察の会(東海)
東海川柳会
三墨会
武下久美子
東海郵趣会
NPO法人
地域福祉サポートちた
ボザール・ド・トーカイ
押し絵羽子板扇会
東海押絵羽子板会
とうかい柳壇川柳会
マザーズバンドランラン
やまももおやこ劇場

体験 ~情報・交流コーナー・ホール~

東海市社会福祉協議会
NPO法人東海市在宅介護
家事援助の会 ふれ愛
NPO法人つみき福祉工房
社会福祉法人あゆみの会
明るい社会づくり運動
知多地区推進協議会東海地域
パソコンお助けサークル
NPO法人まち・ネット・
みんなの広場
洋裁サークル
知多レクリエーション指導者クラブ
アレルギー支援の会・にこにこ
NPO法人あい福祉アセスメント

フース ~大会議室C~

NPO法人学童保育ざりがにクラブ
とうかい防災ボランティア・ネット
ボランティアサポート
NPO法人Smiley Dream

小会議室他

平成おはなしおじさんの会
星城大学地域センター・大学開放支援室
日本福祉大学Cラボ東海

子育て総合支援センター ~フレイルーム~

子育て総合支援センター
やまももおやこ劇場



みんなの広場開催いたしました

始めてみようエクセル ～初級編～

第4回みんなの広場

平成30年11月28日（水）13:30～15:00

パソコンお助けサークルの竹内さんと岩下さんを講師に迎え、企業や一般の方に需要率の高い「エクセル」の初級編講座を開催しました。

使い方を教えて欲しいという方が多く、定員を上回る参加者で賑やかな広場となりました。指示される操作ボタンが分からず、四苦八苦しながらも、それぞれのパソコンで表を作り、表計算をするやり方を学びました。

教室に本格的に習いに行くのは、なかなか足が向かない方も、気軽に参加できるこの講座は大変好評で、次回開催を待ち望む声が多数ありました。また開催できたらと思います。



やりたいことをはじめる、ひろげる ～助成金等活用術～

第5回みんなの広場

平成31年1月23日（水）13:30～15:00

講師に知多信用金庫地域貢献課の池田美恵子さん、日本政策金融公庫の藤本重幸さんをお迎えして、助成金活用方法、事業計画の考え方、書き方等について、お話ししていただきました。一見書類の書き方と言うと難しいイメージがありますが、今回は大

変わりやすく、ユーモアを交えてお話しいただきました。

質疑応答では数多くの質問があり、また講座終了後、個別に相談するなど参加された方の熱心な姿が見られました。



・STAFF CHANGE・

日本福祉大学1年の鳥居香倫です。
まだセンターに入ったばかりのため、分からないところや不慣れなところが多く、皆様にご迷惑をかける場面も出て来かもしれませんが、自分ができることを精一杯頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします！



日本福祉大学4年の岸玲司です。大学1年生の夏からお世話になっているセンターを退職することになりました。初めは市民活動というものの自体、知りませんでした。活発に活動されている方々を見て、様々な活動があることを知りました。身近でその活動のお力添えができたことは、私の貴重な経験となりました。温かく見守って下さった皆様、ありがとうございました。

“資金不足”は市民活動団体にとって、大きな問題の一つです。そんな課題解決に大きな力になってくれるのが、助成金や補助金です。今回は助成金・補助金の獲得のコツを少しだけお伝えします！

1、助成金とは？



助成金とは、行政や企業・組織などが特定のテーマや目的にかなう活動を支援するために実施団体に提供する資金のことです。助成金は、返済義務はないため、試行性の強い事業や短期的で一定の成果が求められる事業には適しています。

これに対して、融資は借入の為、返還義務は有るものの、継続的で安定的な活動をするためには有効で、事業展開をするためには有効な手立てであると言えます。団体の性質や活動に応じて、有効な資金調達方法を検討する必要があります。

2、助成金を調べよう

現在どんな助成金が募集中で、締切りがいつなのか。助成金に関する情報は、リアルタイムで反映される WEB サイトで収集することが有効です。例えば、下記サイトが参考になります。



「愛知県社会福祉協議会 ボランティアセンター 助成金」

<http://aichivc.jp/subsidy/aichi.html>

「NPOWEB 助成金情報」

http://www.npoweb.jp/modules/subsidy/index.php?content_id=1



「獲得しやすい助成金は何か」に、端的に答えたとすれば、「ライバルが少ない助成金」でしょう。企業、助成団体が主催する全国向けの助成金は、助成額が大きい分、獲得のハードルは上がります。一方、地域の助成金は一般的に助成額が小さいことが多いですが、ライバルが少なく比較的獲得しやすくなります。

3、助成金申請書の書き方

◆申請書は相手の事を考えて

助成金の申請書を書く際、お金の出し手は何を期待しているのか考えることが何より大切です。まずは、助成金の募集要綱等に記載されている「趣旨」を徹底的に読み込むことが第一です。そして、「審査基準」を確認し、どんな事業趣旨が対象か、実現可能性はあるのかなどをチェックしてください。団体のホームページなどで情報公開に努めているか否かも見られていることがあります。申請書は、下記のポイントに注意して書きましょう。



読み手にわかりやすく

スマートな文章はもちろん、図、表、フォント、太字、下線等を使い見やすさに注意して下さい。箇条書きも有効です。

内容を詰め込み過ぎない

あれもこれも書くとテーマがぼやけてしまいます。時には切り捨ててポイントを絞ることが大切です。

助成金がなくともやれること

助成金がなければやれない事業ではなく、なくても必要だからやる事業。助成金があれば、何倍もの効果が得られるというスタンスで。

そして **想い** を伝える。

◆伝わる申請書の書き方

1、課題を伝える

「本当に必要とされているか？」をデータや事例で示す。重大性・緊急性・長期性なども考慮して。

2、解決策を示す

誰が、いくらでどのように解決するか、活動の実現可能性を示す。団体の存在が解決策ならば、どういう団体かを紹介する。

3、支援を依頼する

解決策を買ってもらう。助成する側のニーズとこちらのニーズの両方を満たすこと。

◆助成金を申請するときの注意

想いを伝える事は大切ですが、作成した書類は、一度他の方に見て頂くことをお勧めします。審査される方が全てを知っているとは限りません。少し分からないの方が、気づくこともあると思います。

☆ 詳しい事はセンターまでお気軽にご相談ください。



ギャラリースペース

平成30年11月～平成31年1月



11月5日～11月18日

3R活動ポスター展
NPO法人まち・ネット・みんなの広場



11月19日～12月2日

事業内容と活動紹介
NPO法人学童保育ざりがにクラブ



12月10日～12月28日

おっきな紙芝居と昔のあそび
知多レクリエーション指導者クラブ



1月4日～1月20日

干支展
東海押絵羽子板会



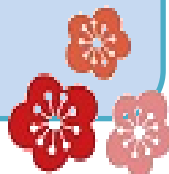
今後の予定

2月10日(日)～24日(日)

「新春俳画展」 藍の会

3月9日(土)～16日(土)

「センターまつり参加団体による
活動紹介」 市民活動センター



ギャラリースペースで作品や活動の発表をしませんか？

利用は、市民活動センター登録団体対象で、2週間を目安に相談に応じます。詳しくは、市民活動センター窓口までお尋ねください。

おしらせ



3月9日(土)「2019市民交流プラザまつり」当日は17時まで印刷室は使用できません。17時以降は通常開館となります。

また、3月8日(金)は準備のため印刷室の利用時にはご不便をおかけします。あらかじめご了承ください。

編集後記

今年は、天皇陛下の譲位で5月1日に元号が平成から改元されます。記念すべき節目に携わることができ、とても嬉しく思います。
また、東海市は市制50周年を迎える年でもあります。市では記念となる催しが様々な場所で予定されていますので、ぜひお出かけ下さい。
市民活動センターでは3月に市民交流プラザまつりを開催し、講演会「地域づくりのあり方」や登録団体による活動紹介などを予定しています。みなさまのご参加と笑顔をお待ちしています。

- 発行 東海市立市民活動センター
- 住所 〒477-0031
東海市大田町後田20番地の1
(ソラト太田川 3F 東海市民交流プラザ内)
- 電話 0562-32-3400
- FAX 0562-32-8180
- 開館時間 午前9時～午後9時
- 休館日 原則 毎月第4月曜日
12月29日～翌年1月3日
- E-mail
shimin-c@fuga.ocn.ne.jp
- ホームページ
<http://tokaishimin3400.ec-net.jp/>

